

警城新聞

休刊 大分 第三日曜
定價 壹枚二錢 壹月五錢
廣告料 (雜報欄行五十錢)
發行所 警城新聞社
編輯人 逆沼 龍輔
印刷所 警城新聞社

白井翁追憶談(下)

明治初年警城の政状……
高田浩一 兩氏の談

警城の政治界は此處より初商港ならしむ可く中央政府
……白井翁は進歩的運動を試み全くと
……全力を打ち込んできたその實現に
……白井文雄、島松尾首
……入黨するに當り交換條件と
……白井文雄、島松尾首
……入黨するに當り交換條件と
……白井文雄、島松尾首
……入黨するに當り交換條件と

警新顧問

(照合を歓迎)

近々長男に嫁が参ります
……此嫁は近所のものでも、久し
……知り合つて居る女です
……私には嫁が来たなら近所にある
……家に移り、一切若夫婦にま
……かせたいと思ひますので、
……そんな話をしますと、嫁に
……かたがた大遊説を試み
……た大いに地方民心を喚起し
……たので、其の後翁は
……御村吏三郎狩谷士仲術猪狩
……守金等と携へ當警線經理
……の爲め狂奔し翁の古川に譲
……に係る野郎炭礦を古川に譲
……渡し翁が政友會に入黨す
……る。翁の傘下にあつた郡内地
……方の諸有方者は翁を
……おぼしめし、長男も心配
……は其の時小名濱港をして
……結婚な御身分です、さう

白井翁を悼みて

小川郷 吉岡 獨歩

我が戀ふる大人逝きぬと聞ける夕
……耳疑がひり二たつび三たび
……一度は見れぬと思ふ我が願ひ
……果敢なく消ゆの曉の夢
……二箇の峯の高きに類ひなん
……大人の残せし偉き勳
……世に稀の富と譽れと誇
……全うせりし大人は逝けるか
……在りし日の勳尊い聖恩に
……浴し奉れる大人にもある哉

吉田科醫院

明 九月 十九日
吉 九月 二十日
吉 九月 二十一日
吉 九月 二十二日
吉 九月 二十三日
吉 九月 二十四日
吉 九月 二十五日
吉 九月 二十六日
吉 九月 二十七日
吉 九月 二十八日
吉 九月 二十九日
吉 九月 三十日



高橋 勇太郎 創作
布 施 年 八 郎 揮 毫

春のこゝろ彼は父成昌の昌
……を取り父忠兵吉行の吉に
……困んで忠太郎昌義と名乗
……た。けれども石出も云々姓
……は餘り類がないので本家
……へ開けては困ると考へ修
……併し如何に腕前が優れて
……かよくとも真正面から向
……かくて忠太郎は諸國を遍
……歴有名な武者を助ね武
……旅をしながら又次の武
……旅を助ねて旅をつづけた
……旅を助ねて旅をつづけた
……旅を助ねて旅をつづけた

「や母のことなど心に
……掛けてはなまりませぬ」お
……家の好敵を誅滅し行方不
……明の父の仇を報る爲め
……の父の仇を報る爲め
……の父の仇を報る爲め
……の父の仇を報る爲め
……の父の仇を報る爲め
……の父の仇を報る爲め
……の父の仇を報る爲め
……の父の仇を報る爲め
……の父の仇を報る爲め
……の父の仇を報る爲め

目種業營

内地材
……木各種、羽柄材各種
……建築諸材請負
……礦山用坑木其他諸材請負
……外材部
……米松、米杉、大角製材調達
……請負、其、他

佐藤材木店

常磐線平町 新川町
電話 三三五番

深キ經驗ト

正シキ學理ヲ基トシテ
最新ノ設備ト
優秀ナル技巧ニ依リ

多産廉賣

益々聲價漲ル
萬年瓦
仙臺高等工業學校試驗證明
鐵道省
福島縣廳
青森縣廳
指定品

萬年瓦株式會社

福島縣 四倉町
電話 三八番

藤沼醫院

内科、小兒科、入院應請
電話 平町 四七番
電話 平町 五〇七番

山野邊藥店

御用は
くすりの
御用は
くすりの

田中

ヒゲタ醤油
特約店 廣瀬支店
電話 五四番

三井吳服店

平町三丁目
電話 三八番

冬衣大賣出し

十月十五日ヨリ廿五日迄
新館陳列營業大擴張——商品豊富
御祝儀物一式江戸襦袢京染金二拾圓ヨリ
本秋の新柄モスリン着尺階上陳列仕候
間是非御來觀の程希上候
たつとめ 特價品
ニョク 大島 壹圓 別珍足袋 二十五錢
三井別染正絹 壹圓五拾錢 (二萬足限り)
布 團 縞 七拾五錢 白キヤロ (五千足限り)
本かへき羽織裏 壹圓六拾錢 黒朱子 三十五錢
着尺モスリン 參圓八拾錢 (五千足限り)
外に破格品山の如し

時計

活版のシーズン来る
労働勤務に運動に
指示正確なる
蓄音器レコードの
御用は……
定評ある當店へ
平町四丁目
會田時計店
電話 三六三

赤心堂病院

外科、耳鼻咽喉科
内科、泌尿器科
X光線科
平町字田
電話 四七

梅參圓也

御一人
……

松五圓也

御一人
……

櫻七圓也

御一人
……

以上現金二限ル

松ヶ岡公園池ノ端

割烹とさき
電話 二二六

日々皆様の御貴賓に酬ゆるの左記
の通り大々の勉強仕り候
是非引續き御愛顧の程御願申
候

水に悩む小名濱 水道敷設を急ぐ

具体的運動を起し 商港實現に備ふ

石城郡小名濱町は商港... 直接川から採水せず... 便宜湯本町入山炭礦の水道... 敷設の汽船や漁船が出入す... 受けたならば経費を軽減し... 得る事情もありかたがた町... 完我を計らねばならない... 海岸の常として井水は何れ... 多量に鹽分を含有し飲料... 水としては適宜といふを得... ないので町當局は種々対策... を講じ左し當り

東洋捕鯨の根拠地も 軍用地演習

東京中野通信学校では中野... 軍用地の軍用鳩の試験を既... 行つたが、成績優良... 種々理事者も苦心し結局は... 平水道並に湯本町水道の取... 入れ口である好間川から約... 一個の水を取水水道敷設... 演習をすることとなり同校... 工費も

逐に最後の榮冠は 平、内郷兩軍へ

濱三郡少年野球

いはら新撰社(支局主任 島島... 濱三郡少年野球大会は昨... の如く今年も濱三郡少年... を終り午後に入るや濱三... 一人氣、熱點となつて、... 高峯科前年度の優勝校な... 内郷對、戦つる球界山、... 第六回戦に入る中軍

白井遠平翁傳記(三)

△官公職時代
慶應三年二十歳にして父... 佐平太の後を襲ふとして... 川村の名主となり、當時... 末維新に際して天下騒然... 下麻の如く、男子國に... 報ずる當に此の時を以て... 初、翁は平藩の爲め、大... 盡す處ありし明治元年... 中藩城し民政政局を置か... 翁は元來七族、跋扈を... 心算かに十族の階級打破... を希圖せる一人なりしを... て早く既に官軍に租税の

無爲に退いた後を受けて内... 郷の打者ボクズに立つや... 平伊藤は連回の好投やや... 疲れたものが四球に送り... 打者に投げた不用意な直球... は二、三塁面を抜く絶好の... 安打となり次打者を三振に... 非、漸く危機去つたかと見... えなが遊撃の過失と投手... 無投とは遂に内郷軍に貴... 入る平軍猛闘して一點を... 復したるも二對一で平軍... 惜敗したが流石に實力

全、伯仲の兩軍が 軍用地演習

軍用地の軍用鳩の試験を既... 行つたが、成績優良... 種々理事者も苦心し結局は... 平水道並に湯本町水道の取... 入れ口である好間川から約... 一個の水を取水水道敷設... 演習をすることとなり同校... 工費も

獄中の治八郎 辯護士側の觀側

石城郡内郷村大越五平の一治八郎は既に半歳を此處に... 家五人殺しの犯人鈴木治八郎... 郎四郎に對する公判は既... の如く十五日午前一時より... 福島地方裁判所支部に於... て開廷し窪田検事は罪状明... 確であると見做して

記念に表彰された 平町の高齡者

八十才以上の老人
四十七名に達す

平町では水道竣工式の際... 町内に在る者にして八十才... 以上の高齡者を表彰した... 當該者氏名左の如し

- 小野ワカ(八四)今宮和中
- (八四)川崎金作(八〇)平
- 澤勇吉(八四)高木シカ
- (八四)橋本鶴太(八五)
- 白土ルイ(八〇)吉田マサ
- (八四)沖野仙五郎(八一)
- 加藤サタ(八一)佐藤啓次
- 郎(八三)中野サヨ(八五)
- 白土トモ(八六)松崎タカ
- (八一)風間フサ(八〇)清
- 原長吉(八八)清原タケ
- (八三)正木キキ(八〇)
- 鈴木甚吉(八〇)渡邊ヨシ
- (八四)若松トメ(八三)
- 佐藤藤次郎(八三)氏家
- ブ(八三)猪狩淺吉(八〇)

争議團員の交代に 機械場を警戒

平署も手持不沙汰
呑氣な白練争議

石城郡湯本町品川白練會... 社の總罷業は依然繼續し... 争議團員は會社の... 去る十六日午前九時半... 濱三郡聯合教育會總集會は... 功勞者表彰

梨果品評即賣會

稲田分場長以下の
審査成績發表

石城郡農會主催第二期梨果... 品評會即賣會は既... 去る十二日から三日間石... 城郡内に於て盛大に舉行... されたが出品點數九十七... 審査長稲田分場長以下... 審査の結果長尺の如く入賞... 者確定した

- 一等早生赤種平窪金成
- 二等早生赤種平窪鈴木
- 定夫 同根本 同大
- 倉佐藤空之助 同亦平海
- 野多、同野間誠忠助

果樹立毛品評 審査結果發表

赤井、赤井、大野三村農會... 聯合の果樹立毛品評會... 大會山技師審査の結果... の如く入賞者確定した

- 一等早生赤種平窪金成
- 二等早生赤種平窪鈴木
- 定夫 同根本 同大
- 倉佐藤空之助 同亦平海
- 野多、同野間誠忠助

三井賣出し

大好評を博す

平町三井賣出しは去る十... 五日から来る廿五日まで... 日間大買出しを開始して... るが非常に盛況で特價品... の如きはほとんど賣切に近... いた状態、同店では更に特... 價品の賣出しをなしてある... が人気の焦點は今秋流行の... ファッション染着尺で一反一圓... 五六十銭に當る客筋を惹... いてゐる

平町外七ヶ村 稻増収品評

日割其の他決定

平町外七ヶ村村稻増収品評... 會は廿七日湯本、夏井、平... 野、廿九日好間、神谷、草... 野、廿九日飯野、平の日割... で執行する事となつたが... 品は、一ヶ村村十二割以内... 一の生収を袋入れにして神... 谷試験場へ搬送すること

流轉

劇代時新作特超活日

脚色 伊藤大輔 扶心
監督 伊藤大輔 扶心
原作 服部 泰三

高久病院

電話五二三番

内科小兒科
外科花柳病科
耳鼻喉科
レントゲン科

クワン

のんですくすく

神経痛、頭痛、ロイマチス、齒痛、
肩のこり、其他疼痛時服用すれば奏
効的確なり

平町各藥店ニテ特約販

賣致します

定 價 三錢、五錢、一圓

山崎合名會社

福島縣平町
電話一〇七番

製造 清世界
清水屋
小野晋平
各炭鐵御用達 電話六番

冬物 帽子 子 中折鳥打小供...
洋品 其の外新着品ホフ...
雜貨 三下ヤ雜貨店